

地震時に大勢の人を安全に避難させたい

班名:アザラシ 班記号:VS302-6 班員 秋元渉 穴田萌 奥村彰太 河口絢香 窪田英晃 鈴木一馬 担当教員:須田達

現状・背景

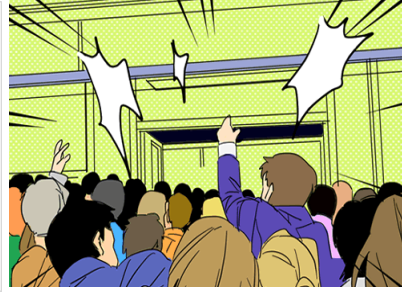
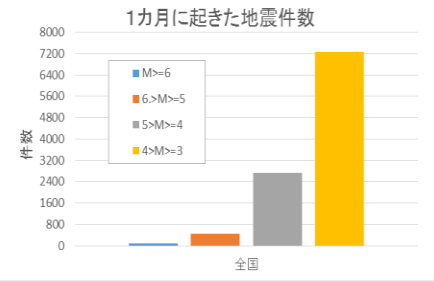
目的

改善

建物の事前対策

防災意識の向上

- ・スムーズに避難できる誘導標識
- ・インテリアとしてデザイン性も考慮
- ・普段から目にすることで意識向上



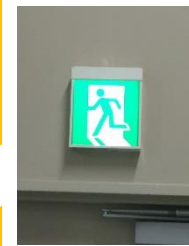
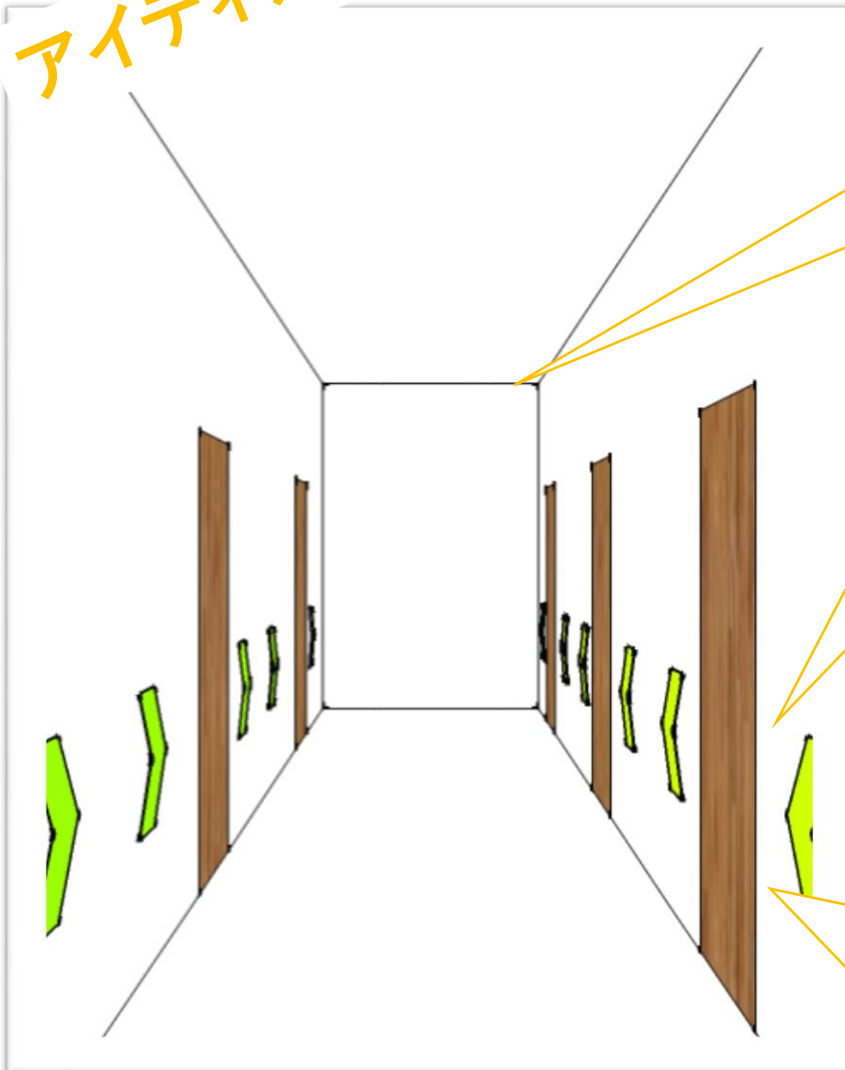
- ・多くの地震が起きている
- ・M3以下の地震なら7000件以上

- ・人が多い場所ではパニック状態
- ・軽微な災害でも大被害に発展

想定

地震火災発生時に、一部破損のホテルから避難

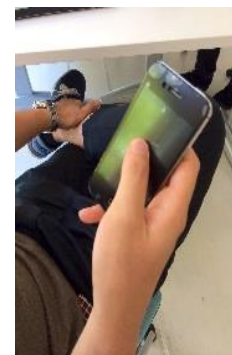
アイデア



ドアを開けたら左右のどちらかに非常口の標識が見えるように設計する。



矢印は、床から60cm上に設置する。火災発生を想定しているため、人々が屈んで避難する。



サイドの標識は液晶パネルとする。スマートフォンのように画面をタッチすることができ、緊急時に矢印の向きを変えることができる。